

適用規格		TÜV, UL 取得予定			
定 格	使用温度範囲	-25°C ~ +105°C (通電による温度上昇分を含む)	保存温度範囲	-10°C ~ +60°C	
	電 圧	AC 600 V , DC 600 V	—————	—————	
	電 流	40 A (5.5mm ² 電線使用時) 50 A (8mm ² 電線使用時) 70 A (14mm ² 電線使用時)	適合ケーブル	5.5mm ² (AWG 10) 8mm ² (AWG 8) 14mm ² (AWG 6)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタを DC 1 A で測定する。	1 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 V で測定する。	1000MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 2500 V の電圧を1分間印加する。 (NECA C 2811)	せん絡・絶縁破壊がないこと	○	—
	短時間耐電流	660A 1秒で測定する。(5.5mm ² 電線使用時) 960A 1秒で測定する。(8mm ² 電線使用時) 1680A 1秒で測定する。(14mm ² 電線使用時) (JIS C 8201)	接触抵抗 : 1.5 mΩ以下	○	—
機 械 的 性 能	圧着端子の挿抜力	適合コネクタで測定する。 	挿抜力 110 N 以下	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。 	①機能を損なう破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②接触抵抗 : 1.5mΩ以下 ③挿抜力 110 N 以下	○	—
	耐振性	周波数 10~500Hz、片振幅0.75mmで 3方向 各3h試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 500 m/s ² 、持続時間 11 ms、 3軸計 6方向 各5回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	端子固定力	結線側より、電線毎に引き抜き力を加える。 5.5mm ² 、8mm ² : 150N、14mm ² : 200N (NECA C 2811)	破壊がないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度40±2°C、相対湿度90~95%、96h放置 常温・常湿の室内に戻して付着した水分を拭き取る。 (NECA C 2811)	①絶縁抵抗 : 20MΩ以上 ②耐電圧 : AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐寒及び耐熱試験	-25±3°Cに2時間放置後取り出し、常温に1時間 放置する。その後、70±3°Cに2時間放置後取り 出す。(NECA C 2811)	①絶縁抵抗 : 20MΩ以上 ②耐電圧 : AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	エージング試験	40A (5.5mm ² 電線使用時)、 50A (8mm ² 電線使用時)、 70A (14mm ² 電線使用時) の電流印加状態で40±3°Cに10分間放置後、 30°Cまで冷却し、10分間放置する。このサイク ルを192回実施する (JIS C 8201)	①接触抵抗 : 1.5mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	2	DIS-C-00001963	HT. ZENBA	TP. KOMATSU	18.01.25
備考 (注1) : 上記規格値は、適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示します。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (JIS C 5402) を適用している。			承認	YH. YAMADA	17.02.07
			検 図	TP. KOMATSU	17.02.07
			担 当	HT. ZENBA	17.02.07
			製 図	HT. ZENBA	17.02.07
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-119729-00-00	
HRS	製品規格表		製品名	EF2-D60-1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL142-0104-0-00	 1/1